

よんでね、この本 ●てい学年むけ（おはなしの本）

シリーズ

のついている本はシリーズになっています。ほかの本もよんでみましょう。

UD

のついている本は点字やマルチメディアDAISY図書があります。

*マルチメディアDAISY図書…音声と一緒に、文字や画像が表示されるデジタル図書

くいしんぼうのはなこさん

よんだ本にしるしを
しましょう。



いしいももこ ぶん なかたにちよこ え

福音館書店



はなこさんは、とてもわがままな子牛です。ごちそうばかり食べてむくむく大きくなったはなこさんは、おひやくしょうにつれられて、山の牧場に行きました。はなこさんは、この後どうなるでしょうか。

ロッタちゃんとじてんしゃ

シリーズ



リンドグリーン さく ヴィークランド え やまむろしすか 訳

偕成社



3人きょうだいの末っ子のロッタは、まだ自転車をもたせてもらえません。そこでロッタはおとなりの物置から、大人の自転車をひっぱりだして乗ってみました。そうしたら、さあたいへん!

しょうぼうじどうしゃじぶた

UD



渡辺茂男 さく 山本忠敬 え

福音館書店

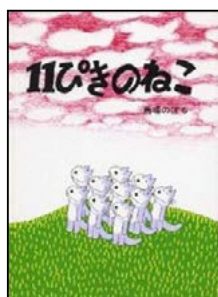


はしご車ののっぽくなくてもなく、高あつ車のぼんぶくなくてもなく、きゅう急車のいちもくさんでもなく、小さなジープのじぶたが活やくするのはどこでしょう。

11ぴきのねこ

シリーズ

UD



馬場のぼる 著

こぐま社



のらねこ11ぴきは、いつもおなががぺこぺこ。かいぶつみたいに大きな魚をつかまえに、みずうみへ出かけて行ったのですが、なかなかつかまえることができません。

パパ、お月さまとって!

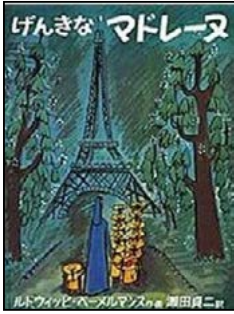


エリック=カール さく もりひさし やく

偕成社



むすめのモニカに月をとってくるようにたのまれたパパは、長いはしごを使って月をとってきます。どれくらい長いかって? それは本を見てのお楽しみ。



げんきなマドレーヌ

シリーズ

ルドウィッヒ・ベームルマンズ 作・画 瀬田貞二 訳
福音館書店



パリの、つたのからんだ古い屋しきにくらす、12人の女の子のおはなしです。一番おちびさんはマドレーヌ。さて、その元気なマドレーヌがおこすじけんは、いったいどんなことでしょう。



くんちゃんのだいいりょこう

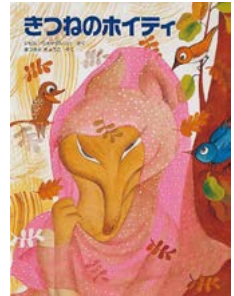
シリーズ

UD

ドロシー・マリノ 文・絵 石井桃子 訳
岩波書店



冬のはじまり、こぐまのくんちゃんはわたり鳥のように南の国へ行ってみたいくなりました。ぼうしに水とう、わすれ物はないでしょうか。旅のじゅんぴをしているうちに…。



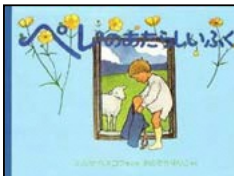
きつねのホイティ

シビル・ウェッタシンハ さく まつおかきょうこ やく
福音館書店



ホイティは、くいしんぼうぎつね。人間のふりをして3人のおかみさんをだまし、見事ごちそうをたいらげます。けれども本当にだまされていたのは？ホイティの歌も、すごく楽しいおはなしです。

ペレのあたらしいふく



エルサ・バスコフ さく・え おのでらゆりこ やく
福音館書店



ペレは、自分の洋服が小さくなったので、洋服を作ることにしました。まずは、羊の毛をかるところから始めます。さて、上手にできあがったでしょうか。

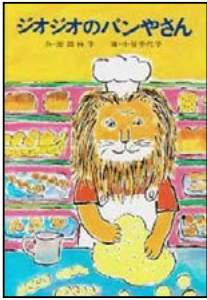
ラチとらいおん



マレーク・ペロニカ ぶん・え とくながやすもと やく
福音館書店



犬やくらい部屋がこわくて、世界一弱虫の男の子ラチ。「らいおんがいたらなあ」と思っていると、小さな赤いらいおんがあらわれて、強くしてくれるというのです。



ジジオのパン屋さん

岸田 衞 作 中谷 千代子 画

あかね書房

シリーズ



らいおんのジジオはパン屋さんです。パンを買うお客さんにはぴったりのおまけパンをつけてくれます。あるとき、ギターをしょったロバがやってきました。



かもさんおとおり

ロバート・マックロスキー ぶん・え わたなべしげお やく

福音館書店



カモさんふうふは8羽の子ガモを育て、公園におひっこしすることに。通りをどうどうと行進するカモたちのため、交差点は車が止まったり、パトカーが来たり、大さわぎです。無事におひっこしができたでしょうか。



ひとまねこざる

H. A. レイ 文・絵 光吉夏弥 訳

岩波書店

シリーズ

UD



しりたがりやのこざるのジョージは、動物園をぬけだして、町へ行きます。心細くなったジョージは、自分をアフリカからつれてきたなかよしのおじさんをさがし始めます。



ロバくんののみみ

ロジャー・デュボアザン さく こみやゆう やく

好学社



ロバくんは自分の耳の形がいやになり、元気がありません。友だちの耳のように向きをかえてみても失敗続き。でも、女の子から「耳がピンと立っていて、とってもすてき!」とほめてもらい、笑顔がもどりました。



ターちゃん と ペリカン

ドン・フリーマン さく さいおんじさちこ やく

ほるぷ出版



ターちゃんは、今年も家族で海へキャンプにやってきました。海にはなかよしのペリカンもいます。魚つりをしているうちに、長ぐつが流されてしまいました。はたして無事にもどってこられるでしょうか。



チムとゆうかなせんちょうさん

エドワード・アーディゾーニ さく せたていじ やく

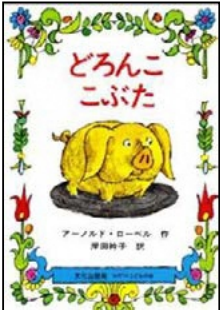
福音館書店

シリーズ

UD



船乗りになりたいとおもっていたチムは、願いがかなって大きな船にしりのびこむことができました。でも、チムが乗った船があらしにまきこまれてしまいます。



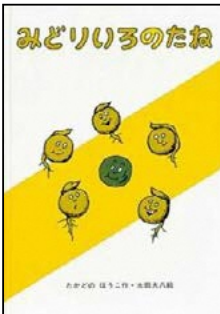
どろんここぶた

アーノルド・ローベル 作 岸田衞子 訳

文化出版局



こぶたはどろんこが大好きです。ところが、ある日、おばさんがおそうじをして、どろんこをかたづけてしまいました。おこったこぶたは、家から出て行きました。



みどりいろのたね

たかどのほうこ 作 太田大八 絵

福音館書店



まあちゃんは、えんどう豆とメロンあめを畑にいっしょにまいてしまいました。芽が出ないメロンあめは「へーんなやつ」とえんどう豆からはやしたてられて…。



エルマーのぼうけん

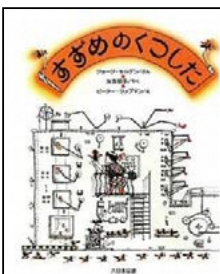
ルース・スタイルス・ガネット さく ルース・クリスマン・ガネット えわたなべしげお やく

福音館書店

シリーズ



男の子エルマーは、ねこから動物島にとらえられているりゅうの話聞き、りゅうを助けに行く決心をします。無事にりゅうを助けられたでしょうか。



すすめのくつした

ジョージ・セルデン ぶん 光吉郁子 やく ピーター・リップマン え

大日本図書



アンガスのおうちは、くつ下工場です。仲良しのすすめに作ってあげた、おしゃれな小さなくつ下は、町中のひょうばんになって…。



せかいでさいしょのポテトチップス

アン・ルノー 文 フェリシタ・サラ 絵 千葉茂樹 訳

BL出版



アメリカの料理人のクラムさんと、^{りょうりにん} 口うるさい^{くち} お客^{きやく}とのやりとりで生まれたポテトチップス。みんなに人気の食^たべものは、どのようにしてできたのでしょうか。おもわずポテトチップスが食^たべたくなりますよ。



ロバのシルベスターとまほうの小石

ウィリアム・スタイク さく せたていじ やく

評論社

UD



願^{ねが}いのかなう赤^{あか}い小石^{こいし}を見つけたロバの子^こシルベスター。ライオンに出^でくわし、とっさに岩^{いわ}になりたいと願^{ねが}い、岩^{いわ}になってしまいます。シルベスターは元^{もと}のロバに戻^{もど}ることができるのでしょうか。

かちかちやま



おざわとしお 再話 赤羽末吉 画

福音館書店



たぬきにはあさまをころされてしまったじいさまは、うさぎにかたき打^うちをたのみます。そこで、うさぎはたぬきをさそいだし、散^{さん}々な目^めにあわせませす。

うらしまたろう



時田史郎 再話 秋野不矩 画

福音館書店



うらしまたろうが、海^{うみ}辺^べで子どもたちにいじめられていたかめ^{かめ}を助^{たす}けると、つぎの日^ひ、助^{たす}けたかめがむかえにきます。たろうは、かめといっしょにりゅうぐう^{りゅうぐう}に行くことになります。

じごくのそうべえ

桂米朝・上方落語・地獄八景より

田島征彦 作

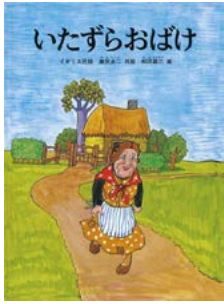
童心社

シリーズ

UD



つなわたりをしていたそうべえは、と中^{ちゆう}で落^おちて死^しんでしまい、地^じごくへ行^いきます。そこで出^で会^あった3人と力^{ちから}をあわせると、地^じごくがつらいところではなくなります。



いたずらおばけ

イギリス民話 世界の昔話

瀬田貞二 再話 和田義三 画

福音館書店



びんぼうでも、いつもほがらかなおばあさん。ある日、金かの入ったつぼを見つめます。ところが、ふりかえるたびにつきつきとふしぎなことが…。読み終えると、幸せな気分になれるイギリスのおはなしです。



ごちそうの木

タンザニアのむかしばなし

ジョン・キラカ 作 さくまゆみこ 訳

西村書店



1本の木においしいそうな実がなっています。カメに実が落ちてくる言葉をおしえてもらいますが、ゾウもキリンもわすれてしまいます。動物たちはおなかがあぺこぺこ。ごちそうの実は食べられるのでしょうか。



パンのかけらとちいさなあくま

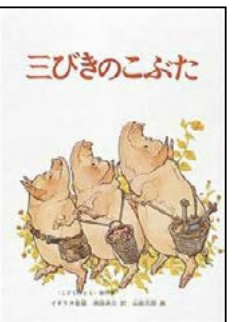
リトアニア民話

内田莉莎子 再話 堀内誠一 画

福音館書店



小さな悪まは、まずしい木こりからパンのかけらをぬすんでしまいました。おわびに、木こりのためになることをしないと家に帰ることができません。リトアニアで昔から伝えられてきたおはなしです。



三びきのこぶた

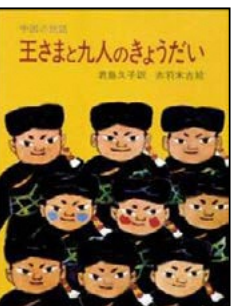
イギリス昔話

瀬田貞二 やく 山田三郎 え

福音館書店



3びきのこぶたのきょうだいがいました。きょうだいは、それぞれ、わらの家、木の家、レンガの家をたてました。そこへ、わるいおおかみがやってきました。イギリスで昔から伝えられてきたおはなしです。



王さまと九人のきょうだい

中国の民話

君島久子 訳 赤羽末吉 絵

岩波書店

UD



顔も体つきもそっくりな9人きょうだい。「ちからもち」「はらいっぱい」「あつがりや」などの名前をつけてもらった9人は、それぞれの特ぎで、力をあわせて悪い王さまに立ち向かいます。

●てい学年むけ（ちしき・あそびの本）



おっぱいのひみつ

柳生 弦一郎 さく

福音館書店



みなさんの体には、おっぱいがありますね。お父さんにもお母さんにもおっぱいがあります。でも、お母さんのおっぱいだけ、なぜか大きいんですね。どうしてでしょう。



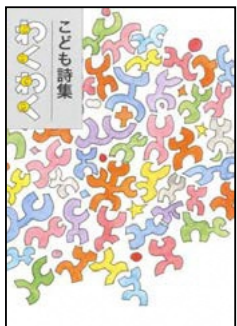
かぶとむしはどこ？

松岡達英 さく

福音館書店



みなさんは「かぶとむし」を育てたことがありますか。かぶとむしはどこで生まれ、どこで大きくなっていくのでしょうか。かぶとむしの一生がよくわかる本です。



わくわく

ことば詩集

全国学校図書館協議会・田中和雄 編

童話屋



「そうさん」「てのひらをたいように」など、だれもが知っている詩が、たくさんしょうかいされています。リズムやメロディーに合わせて唱えてみたら、わくわくの世界が広がりますよ。お気に入りの詩を見つけてみましょう。



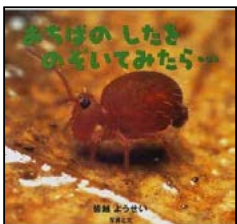
どんぐり

こうやすすむ さく

福音館書店



秋、動物たちが木の根本に落ちたどんぐりを拾います。えぞりすは、どんぐりをどこかへ運んでいきます。春、どんぐりはどうなるでしょう。



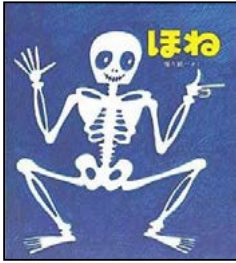
おちばのしたをのぞいてみたら・・・

皆越ようせい 写真と文

ポプラ社



落ち葉の下をのぞいてみると、そこは小さな虫たちの世界。この虫たちは小さなうちをします。それはやがて土になり、土の上には木が育ちます。写真絵本です。



ほね

堀内誠一 さく

福音館書店



魚のほねを見たことがありますか。では、たこのほねは？人間や動物の体の、ほねのはたらきを見てみましょう。こわくない、ほねの本です。



もぐらはすごい

アヤ井アキコ 作 川田伸一郎 監修

アリス館



どうして、長いトンネルがほれるの？トンネルの中には何がかくされているの？真っ暗なトンネルの中で目は見えるの？この本には、もぐらのすごさが、たくさんしょうかいされています。この本を読むと、もぐら博士になれますよ。



だじゃれはだれじゃ

まどみちお・阪田寛夫 文 かみやしん え

小峰書店

シリーズ



ゆかいなことはあそびの、詩の本です。ほかに、シリーズで2さつあります。友達といっしょに声に出して読んでみましょう。ぐんと楽しくなりますよ。



それほんとう？

松岡享子 ぶん 長新太 え

福音館書店



ことはあそびの本です。本を開いて、「あめりかうまれの／ありのありすさんが…」と声に出して読んでみましょう。「。」まで息つぎしないで読めますか。友達といっしょに読んでも楽しいですよ。



伝承おりがみ 1〜4

つじむらますろう 編・絵

福音館書店

シリーズ



「つる」を折ることができますか。1まいの紙から、いろいろなものが作れます。むずかしいものは、大人の人といっしょに作ってみましょう。全部できたら、おりがみ博士になれるかもしれませんよ。

●中学年向け（おはなしの本）



ちいさいおうち

UD

バーニシア・リー・バートン 文・絵 石井桃子 訳
岩波書店



静しずかないなかにちいさいおうちがたっていました。お日ひさまやお月つきさまをながめて、小ちいさいおうちしあはせにくらしていました。ある日、いなか道みちを自動車じどうしゃが走りはじめます。

シリーズ

UD



火曜日のごちそうはヒキガエル

ラッセル・E. エリクソン 作 ローレンス・ディ・フィオリ 絵 佐藤涼子 訳
評論社



ヒキガエルのウォートンは、おかしをとどけようと、スキーで、おばさんうちの家でまでお出かけ。ところが、フクロウにつかまり、たん生日じゅうびのごちそうにされることに…。



レッド

あかくてあおいクレヨンのはなし

マイケル・ホール 作 上田勢子 訳
子どもの未来社



レッドは赤あかい紙かみにつつまれていました。でも、どんなにがんばっても赤い色が出せません。なぜなら、レッドの中身なかみは青あおだったからです。自分じぶんは青あおなんだと気づいたレッドは、うれしくなって青あおい絵えをたくさんかきました。

シリーズ

けんた・うさぎ

中川李枝子 さく 山脇百合子 え
のら書店



いたずらけんたうさぎのお話はなしが6つ。ねぼすけけんたの大好物だいこうぶつはにんじんサラダです。でも本当にねぼすけなのでしょうか。このほかに、こぶたとこぎつねのお話はなしがあります。

シリーズ

なんでも見える鏡

ジブシーの昔話

フィツォフスキ 再話 内田莉紗子 訳 スズキコージ 画
福音館書店



びんぼうだけれど、しんぼう強いジブシーが、けちんぼうな主人しゅじんからにげだして旅たびに出ます。そしてふしぎな生き物いものに助けられ、幸せしあわせを見つめるおはなしです。

シリーズ

番ねずみのヤカちゃん

リチャード・ウィルバー さく 松岡享子 やく 大社玲子 え
福音館書店



ねずみのヤカちゃんはとても大おおきな声こえです。いつもみんなに「しーっ！」といいわれますが、大おおきな声こえはなおりません。ある日、ドドさんの家いへにどろぼういが入りました。



くろ 黒ネコジェニーのおはなし1 ジェニーとキャットクラブ

シリーズ



エスター・アベリル 作・絵 松岡享子・張替恵子 共訳
福音館書店

ジェニーは、ニューヨークに住む、ちょっとはずかしがりやの小さな黒いネコです。あこがれのキャットクラブに入るには、何か特ぎが必要なのですが…。



メリーメリー おとまりにでかける

シリーズ

UD



ジョン・G. ロビンソン 作・絵 小宮由 訳
岩波書店

メリーメリーは、5人きょうだいの末っ子。いつも「まだ小さいから無理」と言われてばかり。でもメリーメリーは、「あたしだっておしゃべりしたり料理したりするもん！」世界一おもしろい末っ子のおはなしです。

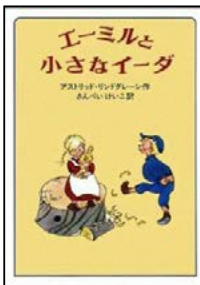


だいいりょうこう アレハンドロの大旅行



きたむらえり さく・え
福音館書店

イノシシのアレハンドロはおとなしくてなんにもしゃべりません。心配したお父さんとお母さんに言われて、遠くのおかを目指すアレハンドロの大旅行が始まりました。たくさんの動物に出会いますが…。



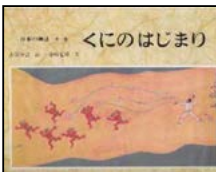
ちい エーミルと小さなイーダ

シリーズ



アストリッド・リンドグレン 作 さんべいけいこ 訳 ビヨン・ベリイ 絵
岩波書店

エーミルはたいへんないたずらっ子。おしおきに、作業小屋にとじこめられたのに、楽しそう。でも妹のイーダは、どうすればいたずらができるのかわかりません。



くにははじまり

シリーズ



赤羽末吉 絵 舟崎克彦 文
あかね書房

日本のくにはをつくった、いざなぎのみことと、いざなみのみことのお話です。二人の神様は、くにはをつくった後も、たくさんの神様を生みました。



ぼうけん シンドバッドの冒険

シリーズ



ルドミラ・ゼーマン 文・絵 脇明子 訳
岩波書店

船乗りシンドバッドがくじらの島とダイヤモンドの谷でくりひろげるぼうけん物語。つづきに『シンドバッドと怪物の島』『シンドバッドの最後の航海』があります。



ものぐさトミー

ペーン・デュボア 文・絵 松岡享子 訳
岩波書店



トミー・ナマケンボの家は着がえ、歯みがき、食事、お風呂のすべてを自動そう置がしてくれま。ところがある日、あらしでてい電して、とんでもないことになってしまいました。



ヘムロック山のくま

アリス・デルグレーシュ 作 松岡享子・藤森和子 共訳 太田大八 画
福音館書店



お母さんから、ヘムロック山のむこうに住むおばさんの大なべを借りてくるようにたのまれたジョナサン。山にはクマが出るというのですが、無事におつかいができるでしょうか。



ちびっこカムのぼうけん

神沢利子 作 山田三郎 絵
理論社



カムは病氣のお母さんのために、どんな病氣でもなおすというイノチノクサを手に入れようと、火の山に住む大オニのガムリイのたいじに出かけます。



ふたりママの家

パトリシア・ポラック 著・絵 中川亜紀子 訳
サウンズブックス社



わたしの家族は、ふたりのママとそれぞれちがうところから来た3人の子ども。ママたちはいつだってわたしたちに愛じょうたっぷり、楽しいことをたくさんしてくれます。ちょっと変わった、すばらしい家族の絵本です。



よあけ

ユリー・シュルヴィッツ 作・画 瀬田貞二 訳
福音館書店



よる ずみき した まごねむ 孫が眠っています。そよ風が吹き、さざ波が立ちます。とりなごえき よあ しぜん しん てき うつく し え つた 鳥の鳴き声が聞こえてきました。夜明けです。自然の神び的な美しさが詩と絵で伝わってきます。



介助犬レスキューとジェシカ

ジェシカ・ケンスキー、パトリック・ダウネス 文
スコット・マグーン 絵 よしいかずみ 訳
BL出版



かいじょ犬は、手足の不自由な人を助ける仕事をします。大けがで足を失い、ぎ足になったジェシカは、生活を手伝ってくれるレスキューと出会って、わすれていた幸せな気持ちを思い出すことができました。

● 中学年向け（知しきの本）



しずくのぼうけん

マリア・テルリコフスカ さく うちだりさこ やく ポフダン・ブテンコ え
福音館書店



おばさんのバケツから飛び出した水のひとしずくは、長い旅に出ます。うら庭から、クリーニング屋さんやお医者さん、それから水の中へ。さて、しずくはどうなるのでしょうか。



つらら

みすと さむさと ちきゅうの ちから

伊地知英信 文 細島雅代 写真
ポプラ社



つららを見たことがありますか？とう明で、かたくこおった氷は、とけたり、こおったりをくり返しながらか、いろいろな形にすがたを変えます。つららの不思議なひみつを見てください。

シリーズ

UD



さわるめいろ 1~3

村山純子 著・デザイン 点字つき絵本の出版と普及を考える会・岩田美津子 協力

小学館



点字の線をさわってたどり、全部で11種類のめいろを楽しみます。それぞれのめいろはきれいな色も様がついていて、目の見える人も見えない人も、いっしょにめいろを楽しむことができます。

鳥の巣いろいろ

鈴木まもる 作・絵

偕成社



鳥の巣は、かれ葉や土、羽などを使って作られています。形もおちゃわんやボールのような形、長い巣などたくさんあるのにもおどろきます。きれいな絵で、それぞれの鳥がなぜその巣を作るのかもわかります。



ざざ虫

伊那谷の虫を食べる文化

松沢陽士 写真・文

フレーベル館



冬、長野県伊那地方では「ざざ虫りょう」をします。ざざ虫とは川にいるいも虫のことで、食べられる虫です。つめたい川でつかまえたざざ虫は、しょう油とさとうでにて、「つくだに」になります。



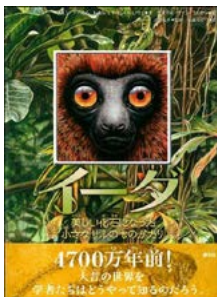
イーダ

美しい化石になった小さなサルのがたり

ヨルン・フルム、トルシュタイン・ヘレヴェ 著 エステル・ヴァン・フルセン 絵

河野礼子 監修 遠藤ゆかり 訳

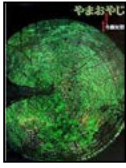
創元社



ずっと昔、ジャングルにイーダというサルがいました。けがをして木に登れなくなったイーダはある日、どくガスをすって死んでしまいます。4700万年前のイーダの生活は、げん代の研究でわかるようになりました。



●もっとよみたいみなさんへ



やまおやじ 季節がめぐる命がめぐる

今森光彦 写真・文
小学館



やまおやじは、みきが太くなったへんてこりんなクヌギの木です。やまおやじのまわりは、生き物がいっぱい。何がいますか見つけてみましょう。写真絵本です。



つき 月へ アポロ11号のはるかなる旅

フライアン・フロッカ 作・絵 日暮雅通 訳
偕成社



1969年、うちゅう船アポロ11号のアームストロング船長は、人るいとして初めて月へおり立ちました。うちゅう船の発しやから帰かんまで、あなたも月旅行の世界に。



ほのお 炎をきりさく風になって

ポストンマラソンをはじめて走った女性ランナー
フランス・ボレット、クリスティーナ・イー 著
スザンナ・チャップマン 絵 渋谷弘子 訳
汐文社



ポビーは小さなころから走ることが大好きでしたが、マラソンを走りたいとおもっても「女子にマラソンは走れない」と言われてしまいます。それでも、ポビーは走りをはじめました。1966年にあった本当のおはなしです。



うみ それでも、海へ 陸前高田に生きる

安田菜津紀 文・写真
ポプラ社



東日本大しんさいによって、一度は海に出入のをやめた漁りのじいちゃん。「じいちゃんがとってきた白いお魚がもう一回食べたい」という孫の言葉にせ中をおされて再び海へ。人びとの強さを生き生きとえがいています。



せかいのれきし 改訂版

地球上にせいめいがうまれたときからいままでのおはなし
バーシニア・リー・バートン 文・絵
いしいももこ 訳 まなべまこと 監修
岩波書店



地球っていつからあるのかな？太陽はどうしてできたのかな？地球が生まれてから、げん代までの長い長い命のリレーをおしばいを見ているように楽しめます。次の主人公はあなたです！



せかい こっきすかん 世界の国旗図鑑

歴史とともに進化する国旗
刈安望 著
偕成社



国旗には、その国のれきしや文化とともに、人びとのねがいがこめられています。250の国と地いきの国旗が、れきし、面積、人口、使われている言葉といっしょにしょうかいされています。



パイパーさんのバス

エリナー・クライマー 作 クルト・ヴィーゼ 絵
小宮由 訳
徳間書店



パイパーさんはお人よしのバスの運転手。ある日、犬、猫、ひよこが次々とやってきて…でもアパートでは動物をかえません。パイパーさんは、バスに乗って動物たちの新しい家をさがす旅に出ましたが…。



グリムのむかしばなし 1・2

グリム 著 ワンダ・ガアグ 編・絵
松岡享子 訳
のら書店



『ヘンゼルとグレーテル』『シンデレラ』『ブレーメンの音楽隊』などおなじみのおはなしが、ユーモアいっぱいの絵とともに楽しめます。さて、みんなはいくつ知っていますか？



大どろぼうホッツェンプロッツ

プロイスラー 作 中村浩三 訳
偕成社

シリーズ



おばあさんの大事なコーヒーひきをぬすんだ大どろぼうホッツェンプロッツ。少年カスパーとゼッペルが知えを働かせてつかまえようとしますが…。



金のがちょうのほん 四つのおかしはなし

レスリー・ブルック 文・画
瀬田貞二・松瀬七織 訳
福音館書店



イギリスの昔話『金のがちょう』『三びきのくま』『三びきのこぶた』『親ゆびトム』の4つが入っています。ユーモアいっぱいのおはなしの本です。



チョコレート戦争

大石真 作 北田卓史 絵
理論社



子どもたちのあこがれの洋がし屋から、毎月この小学校の子どもたちにチョコレートケーキがとどきます。あこがれの洋がし屋からのプレゼント。そこにはどんな理由があるのでしょうか。



魔女学校の一年生

シル・マーフィ 作・絵 松川真弓 訳
評論社



魔女学校の一年生ミルドレッドは、まほうのじゅ文も笑い薬作りも失敗ばかりです。ハロウィーンのおいわいの会でも大失敗。しかし魔女学校のピンチを知ったミルドレッドは…。



木の中の魚

リンダ・マラーリ・ハント著
中井はるの 訳
講談社



アリーは生まれつき読んだり書いたりすることが苦手で、学校でも叱られてばかり。でも、新しい先生がアリーに合った勉強を教えてくれたり、いっしょにいじめっ子とたたかう仲間ができたりに彼女の生き活は一変します。



アラスカの小さな家族 バードクreekのポー

カークパトリック・ヒル 著 レウィン・ファム 絵
田中奈津子 訳
講談社



ポーにはお母さんはいないけど、力持ちのお父さんが二人もいます。アラスカの美しい自然に囲まれた金こうの町で、年れいや人種、言葉や文化を超えた様々な人々の絆に包まれ、ポーは明るくたくましく成長していきます。



バレエシューズ

ノエル・ストレットフィールド 作
朽木祥 訳 金子恵 画
福音館書店



身よりのない3人の赤ちゃんがある学者に引き取られます。三姉妹は「フォシル」せいの下、この名をれきしにとどめようとちかいます。ぶ台えんげきのきびしさになやみながら3人は成長し、それぞれの道をき切りひらいていきます。



ひとりじゃないよ、ほくがいる

サイモン・フレンチ 著
野の水生 訳
福音館書店



キーランは、転校してきた風変りないとこボンが苦手で、ボンをいじめるグループから抜け出すことができません。でもいっしょに暮らし、ボンのかかえるつらさにふれたことで、二人の仲は近づいていきました。